

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規着工準備箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道45号 尾肝要道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑 至：岩手県下閉伊郡田野畑村姫松			延長	3.8 km
<p>事業概要</p> <p>三陸北縦貫道路は岩手県宮古市鎌ヶ崎から岩手県久慈市新井田を結ぶ延長約90kmの地域高規格道路であり、尾肝要道路は三陸北縦貫道路の一部を構成する延長約3.8kmの道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>尾肝要道路の並行現道は、一般国道45号最大の峠である閉伊坂峠を擁しており、隘路が多数存在（R<150：17箇所、I>5%：3,519m）する。積雪・凍結時には大型車の立ち往生やスリップ事故が発生するなど交通機能の著しい低下が見られる。救急医療においても高次医療施設への搬送時に主となる路線であるが、道路線形の悪さなどから救命活動に支障が出ている。当該区間は一般国道45号に代わる代替路が無いことから、これらの問題を解消する道路の整備が必要である。</p>					
全体事業費	105億円		計画交通量	4,300台/日	
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

尾肝要道路は、一般国道45号最大の峠である閉伊坂峠を回避することにより、隘路解消は勿論、交通事故の削減、救急医療活動への貢献が図られる事が期待されており、「一般国道45号尾肝要道路整備促進住民大会（会長：田野畑村長 上机莞治）」などから要望（平成18年2月27日）を受けている。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている
手続きの完了（予定）：環境影響評価実施予定（平成18年度～）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.3	総費用：87億円 （事業費：80億円 維持管理費：7億円）	総便益：109億円 （走行時間短縮便益：90億円 走行費用減少便益：16億円 交通事故減少便益：3億円）	基準年 平成17年																																			
	<p>事業の影響</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">自動車や歩行者への影響</td> <td>渋滞対策</td> <td>-</td> <td>注目すべき影響はない</td> </tr> <tr> <td>事故対策</td> <td>-</td> <td>岩手県内平均死傷事故率の2倍以上が含まれている当該区間の事故の減少が見込まれる。（現況：約96.6件/億台キロ） 【死傷事故率】約96.6件/億台キロ（現況）（死傷事故率比（県内単路部平均比）=4.0） 当該区間に並行する一般国道45号における最大死傷事故率 【事故率曲線】岩手県内直轄国道における死傷事故率の中で上位1割に含まれる。 【その他の特徴】並行現道区間は線形が悪く、冬期間の積雪・凍結に起因する大型車の立ち往生や事故が多く発生。</td> </tr> <tr> <td>歩行空間</td> <td>-</td> <td>注目すべき影響はない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">社会全体への影響</td> <td>住民生活</td> <td>-</td> <td>下閉伊郡田野畑村が3次医療施設（県立久慈病院）60分圏内に入る（61分 54分） 峠部の回避により通院・買い物などの広域化が期待される</td> </tr> <tr> <td>地域経済</td> <td>-</td> <td>峠部の回避により冬期間でも定時性が確保され、安定した物流が行われる（鮮魚、燃料、資源等）</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>-</td> <td>隘路区間が連続する一般国道45号に代わる代替路線が形成される （宮古市～久慈市間R 150m：12%減少、I 5%：16%減少）</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>-</td> <td>注目すべき影響はない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域社会</td> <td>-</td> <td>時間短縮効果により都市間交流の活性化が期待される （宮古市～久慈市間：115分 109分）</td> </tr> <tr> <td>事業実施環境</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注目すべき影響はない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	評価	根拠	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない	事故対策	-	岩手県内平均死傷事故率の2倍以上が含まれている当該区間の事故の減少が見込まれる。（現況：約96.6件/億台キロ） 【死傷事故率】約96.6件/億台キロ（現況）（死傷事故率比（県内単路部平均比）=4.0） 当該区間に並行する一般国道45号における最大死傷事故率 【事故率曲線】岩手県内直轄国道における死傷事故率の中で上位1割に含まれる。 【その他の特徴】並行現道区間は線形が悪く、冬期間の積雪・凍結に起因する大型車の立ち往生や事故が多く発生。	歩行空間	-	注目すべき影響はない	社会全体への影響	住民生活	-	下閉伊郡田野畑村が3次医療施設（県立久慈病院）60分圏内に入る（61分 54分） 峠部の回避により通院・買い物などの広域化が期待される	地域経済	-	峠部の回避により冬期間でも定時性が確保され、安定した物流が行われる（鮮魚、燃料、資源等）	災害	-	隘路区間が連続する一般国道45号に代わる代替路線が形成される （宮古市～久慈市間R 150m：12%減少、I 5%：16%減少）	環境	-	注目すべき影響はない		地域社会	-	時間短縮効果により都市間交流の活性化が期待される （宮古市～久慈市間：115分 109分）	事業実施環境	-	-	注目すべき影響はない	
評価項目	評価	根拠																																						
自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない																																					
	事故対策	-	岩手県内平均死傷事故率の2倍以上が含まれている当該区間の事故の減少が見込まれる。（現況：約96.6件/億台キロ） 【死傷事故率】約96.6件/億台キロ（現況）（死傷事故率比（県内単路部平均比）=4.0） 当該区間に並行する一般国道45号における最大死傷事故率 【事故率曲線】岩手県内直轄国道における死傷事故率の中で上位1割に含まれる。 【その他の特徴】並行現道区間は線形が悪く、冬期間の積雪・凍結に起因する大型車の立ち往生や事故が多く発生。																																					
	歩行空間	-	注目すべき影響はない																																					
社会全体への影響	住民生活	-	下閉伊郡田野畑村が3次医療施設（県立久慈病院）60分圏内に入る（61分 54分） 峠部の回避により通院・買い物などの広域化が期待される																																					
	地域経済	-	峠部の回避により冬期間でも定時性が確保され、安定した物流が行われる（鮮魚、燃料、資源等）																																					
	災害	-	隘路区間が連続する一般国道45号に代わる代替路線が形成される （宮古市～久慈市間R 150m：12%減少、I 5%：16%減少）																																					
	環境	-	注目すべき影響はない																																					
	地域社会	-	時間短縮効果により都市間交流の活性化が期待される （宮古市～久慈市間：115分 109分）																																					
事業実施環境	-	-	注目すべき影響はない																																					

採択の理由

費用便益比が1.3と費用が便益を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該事業箇所の並行現道に多数存在する隘路区間を回避することによる交通事故の削減や、冬期における安全性の向上、救急医療への貢献など、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。